

前号に引き続き、東京土  
建本部が行なった各政党に  
出した「国政に関する要望  
書」の回答を紹介します。

# 私たちの希望が託せる政治へ

## 各党アンケートの回答

- ①建設産業の担い手確保は、国内における人材確保策を優先してください。
- ②外国人労働者にも国内の労働者同様の処遇、地位確立をすすめてください。
- ③技能実習制度の根本的な見直し、是正をすすめてください。

**自由民主党** ①建設業の担い手確保は重大な課題であり、官民を挙げて、国内の技能者の処遇改善の取り組みを推進しています。こうした国内人材確保の取り組みや生産性向上を行なってもなおお生じる人手不足の対策として、新たな在留資格「特定技能」による外国人材の受け入れができることになりました。②新たな在留資格「特定技能」による受け入れに当たっては、業種横断的に求められる外国人材への支援等の基準に加え、外国人材に対して同等の技能を有する日本人と同等の賃金が支払われること等を確保するための建設分野独自の措置を設けることになっています。③建設分野技能実習生についても、日本人と同基準で技能・経験を評価し、適切な処遇を実現するため、技能実習生に対する安定的な賃金支払いや就業履歴等を蓄積する建設キャリアアップシステムへの加入などを求める方針となっています。

**公明党** ①生産性向上や国内人材確保のための取り組みを行ってもなお、人材確保が困難である分野に限って外国人労働者を新たに受け入れるというのがこの制度の大前提です。その上で政府は、わが党の主張を受けて、外国人材を受け入れた後も、生産性向上や国内人材の確保策を継続して行なうこととしています。②政府は、外国人材が能力を有効に発揮できるよう、定期的な「日本人と同等額以上」の賃金の支払いを受けているか、また、公的社会保険、社会保障制度がきちんと適用されているか、差別的な取り扱いが行なわれていないかなどを定期的にチェックし、問題があれば厳正に対処する方針です。③技能実習制度について、一部で劣悪な労働環境や失踪が起きていることが明らかになりました。一方で、日本で学んだ技術を生かし、母国の地で活躍している数多くの好事例もあります。しっかりと実態を把握するとともに、外国人技能実習機構の体制強化を図るなど、よりよい制度として運用していけるよう、是正を進めます。

**立憲民主党** ①新たな制度の施行にあたっては、国内労働者の就労機会の増進や賃金・労働条件の向上努力が大前提であり、国内人材の活用が置き去りにならないよう、取り組んで参ります。②新たな制度の施行に際しては、技能実習生を含む外国人労働者の地位や労働環境の改善がまず必要であると考え、議論を行なって参りました。今後も、処遇・地位確立に向け、政府の取り組みを監視するとともに、必要な制度の変更を求めて参ります。③、②でお答えしたように、引き続き必要な議論を進めて参ります。

**日本共産党** ①低賃金労働者の受入れは、日本の労働者の労働条件の低下や失業の増大を招きます。②外国人労働者の労働条件の改善だけでなく、住宅、社会保障、教育制度の拡充と一体的に進めます。③技能実習制度は廃止し、外国人労働者の人権と労働者としての権利を守る体制を確立します。

### 憲法25条に定める国の責任に基づき社会保障予算を増額し、地域に必要な、医療、介護、福祉、年金、障害、子育て支援、生活保護等の制度・体制を拡充してください。

**自由民主党** 国の政策として社会保障と税の一体改革を推進しており、消費税8%増税の折は、所得の低い方に対するサービスの拡充として、国民健康保険料や介護保険料の軽減の強化を、本年10月の消費税10%引き上げ時は、幼児教育の無償化や、所得の低い方々に対する介護保険料の軽減の拡充や年金受給者への給付金の支給などにあてます。社会保障4経費に含まれない施策についても、充実を図ります。引き続き、支援が必要な方々に保障が行き届くよう、国、地方における財源の確保を進めつつ、サービスの維持・向上に取り組んでまいります。

**公明党** 社会保障の充実、国民に将来への安心感を生み、消費の下支えにもつながるものと考えます。公明党は長きにわたり社会保障制度の強化・拡充に一貫して取り組んできました。今年10月には、介護や年金、子育て支援などの充実・強化も予定されており、引き続き、制度の持続可能性を確保しつつ、誰もが持てる力を存分に発揮し、全ての人が安心できる社会保障制度の構築に取り組んでまいります。

**日本共産党** 年金・医療・介護・福祉を大本から立て直し、憲法25条の定める生存権保障にふさわしい制度へと改革します。

**立憲民主党** 実質賃金が下がり、アベノミクスの失敗が明確になる中で、将来不安が各世代に広がっています。人間らしい生活の実現に向け、社会保障予算の確保がしっかりとされるよう、引き続き取り組んで参ります。

### 原子力発電に頼らず、エネルギーシフトで持続可能な社会の実現をめざしてください。

**自由民主党** 資源の乏しい我が国にとって、①電気料金のコスト、②気候変動問題への対応、③エネルギーの海外依存度を考えれば、責任あるエネルギー政策を実行するためには、現時点では原発に頼らざるを得ない部分があります。しかしながら原発依存から脱し、新エネルギー産業の育成に力を入れていきたいと考えています。

**公明党** 公明党は、再生可能エネルギーの主力電源化をめざして、送電線網の強化や蓄電池、水素等の調整力の確保などに取り組み、再生可能エネルギーを最大限導入できる環境整備を進めるほか、省エネルギーの普及促進、火力発電の高効率化などを図りつつ、原子力発電に依存しない社会、「原発ゼロ」をめざしています。

**立憲民主党** 立憲民主党は、一日も早い原発ゼロ社会の実現のため、「原発ゼロ基本法案」を昨年の通常国会に提出しました。原子力発電の再稼働は認めず、速やかな廃炉を実現し、再生可能エネルギーを中心とするエネルギーシフトを実現します。

**日本共産党** 「即時原発ゼロ」の実現、再生可能エネルギーの大量導入を図ります。

## 私たちが参議院選挙に思うこと

### 改憲NO！実現で

#### 子どもは戦地に送らない



鷲尾さん

【目黒・主婦・鷲尾恵子通信員】5月1日、令和の時代がスタートしました。平成の天皇は常に国民に寄り添い、平和への行脚を続けてこられ

ました。お二人の思いが痛いほど伝わりました。

安倍首相は国民に寄り添いと言葉にしますが、何ひとつ思いが伝わりません。むしろ国民をないがしろにさせる行為が目立ちます。

国民の「命」を守る議員の方に国を守ってほしいです。軍事費に膨大な予算をつぎ込

み、トランプさんに寄り添ってはいずれ私たち子どもを戦地に送り出す母親になりかねません。世界が注目する憲法9条の国、終戦以来一

度も戦うことなく平和が守られてきました。

もう安倍さんにお帰り頂いていただくための議員選挙に私の大切な一票を投じようと思えます。改憲NO！の実現を望み、平和が続くために。

## 居眠り議員に失望 若者の選挙離れ心配



神戸さん

【江戸川・主婦・神戸かおり通信員】私は、若い人たちの選挙離れが気になっていま

す。現に私も選挙には参加していません。なぜならば、

テレビのニュースを観て流れる国会中継ですが、意見を述べているのはわずかな方で、目をつむって居眠りをされている方もいらっしゃいます。そのような映像を観てしまえば、選挙に行かなくてもいいの、私1人が1票入れたらいいと思ってしまう。

議員さんになるというだけで、ただそれだけで満足するのではなくて、国民の暮らしを良くしていくのと、選挙に行かない方たちがもっとも

次回の選挙には行ってみたいと思えます。

つと参加していただけるように変えていってほしいです。

## 選挙に関心を必要と

【文京・表具 池上浩記】私が選挙の時に常に感じることは、次々と小選挙区に移り、小会派の党はあまり出られない。



池上さん

い。与党は次々と自分の都合の良いように改革している。私にはこれが一番気に入らない。時には大逆転しないかと、いつも思い、選挙にも多少は協力しているつもりですが、思うようにはならない。

私は常に考えている。「総理や代議士が悪い」。よく言われることだが、悪い代議士

増税、憲法改正には賛成の人は少ないと思う。ぜひ多くの人が腰を上げて、投票に参加してほしい。

## 改憲派に投票しないが大切



藤澤さん

言われ、国政を中立で公正な審議をする場である。政党にしばられ民意に反する方向に行ってしまう。

安倍首相が衆院を解散して、衆参同日選挙に出るのではないかと、与党内で広がっている。もしそうなれば、小選挙区で野党が競り合うとみられる選挙区を中心に、野党候補の一本化に向けて協議していくことが必要である。

【三鷹武蔵野・ビルメンテナンス・藤澤義明通信員】夏の参院選がある。憲法改正の発議には、両院の3分の2以上を必要とする。現在、衆院は与党がそれを満たしている。今度の参院選では、改憲派と思われる党に投票しないことが大事である。そもそも参院は良識の府と

きである。必ず選挙に行くべきである。